



## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月9日

上場会社名 株式会社ルネサンス 上場取引所 東  
 コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 望月 美佐緒  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞 (TEL) 03-5600-7811  
 定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 2025年6月11日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	63,737	46.1	1,946	54.3	1,224	117.4	766	21.0
2024年3月期	43,627	7.0	1,261	85.4	563	81.0	633	—

(注) 包括利益 2025年3月期 894百万円 ( 54.3%) 2024年3月期 579百万円 ( —%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	39.48	34.26	6.5	2.3	3.1
2024年3月期	32.46	30.48	5.7	1.2	2.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 △323百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	55,435	12,118	21.8	534.87
2024年3月期	53,186	11,425	21.5	498.38

(参考) 自己資本 2025年3月期 12,106百万円 2024年3月期 11,413百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	3,510	△3,158	1,086	7,680
2024年3月期	4,831	△4,520	436	6,211

(注) 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、「1. 2025年3月期の連結業績」における前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00	188	30.8	2.1
2025年3月期	—	3.00	—	9.00	12.00	226	30.4	2.3
2026年3月期(予想)	—	4.00	—	9.00	13.00		29.6	

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,500	3.6	500	△42.8	100	△78.7	10	△95.5	0.00
通期	67,000	5.1	2,200	13.0	1,400	14.3	850	11.0	43.92

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	21,379,000株	2024年3月期	21,379,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期	2,482,987株	2024年3月期	2,490,706株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	18,893,603株	2024年3月期	18,888,294株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	45,342	5.3	1,154	△8.7	390	△52.2	389	△34.0
2024年3月期	43,048	7.0	1,264	71.6	817	170.4	589	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	19.55	17.64
2024年3月期	30.16	28.36

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	49,770	11,660	23.4	510.64
2024年3月期	47,205	11,466	24.3	500.57

(参考) 自己資本 2025年3月期 11,648百万円 2024年3月期 11,454百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）1ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。
- (2) 当社は、2025年5月12日に機関投資家・アナリスト・マスコミ向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	4.78	—	4.78	9.56
2025年3月期	—	4.78	—	4.78	9.56
2026年3月期(予想)	—	4.78	—	4.78	9.56

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	1
(1) 当期の経営成績の概況 .....	1
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(企業結合等関係) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、スポーツクラブの在籍会員数が堅調に推移したことに加え、前連結会計年度末に100%連結子会社となった株式会社スポーツオアシス（以下、「オアシス」といいます。）のホームフィットネス事業である家庭用運動機器の販売が好調に進んだこと等により、売上高は計画を上回る結果となりました。コスト面においては、全社的な省エネの対応や国の電気・ガス料金支援により光熱費を抑制できたこと等から、各段階利益は概ね計画に近い水準となりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高637億37百万円（前年同期比46.1%増）、営業利益19億46百万円（同54.3%増）、経常利益12億24百万円（同117.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7億66百万円（同21.0%増）となりました。

なお、当社グループは2024年3月31日付けでオアシスを企業統合しておりますが、当連結会計年度に同社取得原価の配分（PPA）が完了しており、前年同期との比較にあたっては、PPAの内容を反映させた金額を用いております。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご参照ください。

また、当社グループは2025年4月1日にオアシスと合併しました。今後「新生ルネサンス」として、新たな経営体制のもと非連続な成長の実現を目指してまいります。

当社グループは、「生きがい創造企業」という企業理念のもと、「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」を長期ビジョンに掲げ、すべてのライフステージにおいて、人々が心身ともに「健康」で「生きがい」を持って豊かに過ごせることを目指し、事業活動に取り組んでおります。また、2024年5月に「2024-2027中期経営計画」を策定し、①総合型スポーツクラブのリーディングカンパニーとして業界をリードすること及び②フィットネス業界の枠を超えた中長期成長ドライバーの創出を重要テーマに位置づけております。

#### <スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業では、ジム・スタジオ・プール・温浴施設等の施設を充実させるとともに、居心地の良さやスタッフによる運動指導、コミュニティづくりを強みに、幅広い世代の方々の健康づくりをサポートしました。当連結会計年度においては、既存施設の新規入会者数が堅調に推移し、特に企業・健康保険組合に所属する従業員又は組合員向けの会員種別であるマンスリーコーポレート会員の新たな入会プランが好評となりました。また、前連結会計年度に新規出店した4施設、2024年3月に事業継承した「スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス KSC金町24」（東京都葛飾区）及びオアシス運営施設の純増が寄与し、スポーツクラブ事業における当連結会計年度末の売上高は532億17百万円（前年同期比35.3%増）、在籍会員数は500,126名（うちオンライン会員数68,398名）（前年同期比26.6%増）となりました。

#### <地域・自治体向けの健康づくり事業>

スポーツクラブ運営のノウハウを活かしたBtoG領域（地域の健康づくり）では、プールの老朽化や教員の負担軽減、猛暑日の増加等によるニーズの高まりを受け、学校の水泳授業の受託が増加したほか、当連結会計年度において9つの自治体と地域住民の健康増進や防災時の当社施設利用に関する協定を結び、連携を強化しました。また、オアシスが企画設計開発を手掛けたバランスボールを活用し、福岡市と協働で取り組んだ「バランスボールを活用した転倒災害予防実証実験」においては、厚生労働省が安全で健康に働ける職場環境づくりに向けた優れた取組を表彰する「SAFEアワード」のサービス産業部門 企業等間連携部門で最高位のゴールド賞に選出されました。公共施設等官民連携事業（PPP）（以下、「PPP事業」といいます。）等による健康づくり拠点の活性化においては、2025年3月にトレーニングルームの運営受託を開始した「香川県立アリーナ」（香川県高松市）を含め、新たに7施設が加わりました。

#### <企業・健康保険組合向けの健康づくり事業>

BtoB領域（企業・健康保険組合向け働く人の健康づくり）では、住友生命保険相互会社のVitality会員の利用を中心に、オンラインレッスンサービス「RENAISSANCE Online Livestream」（以下、「ROL」といいます。）等を通じた企

業の有する顧客に向けたサービスに取り組みました。また、ヘルスリテラシーの向上を通じて企業の健康経営の実践を支援するオンライン健康サービス「スマートAction」を、企業・健康保険組合等に向けて提供開始しました。

#### <介護・医療周辺事業>

介護・医療周辺事業では、スポーツクラブと訪問看護ステーションが一体となって地域の健康づくりに貢献する取組として、9月に「スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス 港南台24」内に「ルネサンス リハビリステーション港南台」（神奈川県横浜市）を開設しました。また、リハビリ特化型デイサービス「元氣ジム」の事業拡大のため、鎌倉エリア及び横浜エリアのドミナント展開として、10月に「ルネサンス 元氣ジム大船岡本」（神奈川県鎌倉市）、11月に「ルネサンス 元氣ジム弥生台」（神奈川県横浜市）の2施設を新規開設しました。

さらに、がんサバイバーのリハビリ支援を目的として、QOLの向上に向けたオンラインセミナーを複数開催したほか、「大阪国際がんセンター認定 がん専門運動指導士（以下、「がん専門運動指導士」といいます。）」の養成・資格認定事業を強化し、当連結会計年度末時点で当社のスポーツクラブ67施設及び介護リハビリ7施設にがん専門運動指導士を154名配置しました。この結果、介護・医療周辺事業における当連結会計年度の売上高は20億32百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

#### <ホームフィットネス事業>

ホームフィットネス事業では、家庭用運動機器の通販において、売れ筋商品である「ツイストステッパー」シリーズのインターネット販売が堅調に推移したほか、座ったまま内転筋を鍛えることができる「スタイリーボール」等の振動系商品の販売が好調に進み、ホームフィットネス事業における当連結会計年度の売上高は48億37百万円（前年同期より46億67百万円増）となりました。なお、オアシスが出店する楽天市場において、多数の商品が好評となり、「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2024」のスポーツ部門ジャンル賞を受賞しました。

当連結会計年度の新規出退店（業務受託、指定管理を含む）は以下のとおりです。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2024年4月	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス KSC金町24（東京都葛飾区）	スポーツクラブ
2024年4月	BEACHTOWN 大山（鳥取県西伯郡大山町）	アウトドアフィットネス（直営）
2024年4月	からつ市公営施設コミュニティエリア（佐賀県唐津市）	業務受託
2024年4月	粕屋町総合体育館（福岡県糟屋郡粕屋町）	業務受託
2024年4月	春日市いきいきプラザ（福岡県春日市）	業務受託
2024年4月	伊予市しおさい公園（愛媛県伊予市）	指定管理
2024年4月	伊予市ふたみ潮風ふれあい公園（愛媛県伊予市）	指定管理
2024年7月	Re PT GYM RENAISSANCE JAPAN Times City（ベトナム ハノイ市）	パーソナルトレーニングジム（直営）
2024年7月	THE OSAKA STATION HOTEL, Autograph Collection 30F GYM/OFURO（大阪府大阪市）	業務受託（オアシス）
2024年9月	ルネサンス リハビリステーション港南台（神奈川県横浜市）	介護リハビリ（直営）
2024年10月	ルネサンス 元氣ジム大船岡本（神奈川県鎌倉市）	介護リハビリ（直営）
2024年10月	CARAPPO 虎ノ門ヒルズ（東京都港区）	業務受託（オアシス）
2024年11月	ルネサンス 元氣ジム弥生台（神奈川県横浜市）	介護リハビリ（直営）
2024年11月	ジム&スタジオ ルネサンス 東あずま24（東京都墨田区）	スポーツクラブ
2025年3月	香川県立アリーナ（香川県高松市）	業務受託

退店・受託 終了時期	施設名	施設形態
2025年2月	BETTER BODIES HI AOYAMA (東京都港区)	スタジオ業態
2025年2月	スパ&フィットネス ルネサンス・アリオ札幌 (北海道札幌市)	スポーツクラブ
2025年3月	Community Park 八潮 (埼玉県八潮市)	アウトドアフィットネス (直営)
2025年3月	PARKERS TOKYO (東京都新宿区)	アウトドアフィットネス (業務受託)
2025年3月	アウトドアフィットネス江戸川 (東京都江戸川区)	アウトドアフィットネス (業務受託)

以上の結果、当連結会計年度末の当社グループの施設数は、スポーツクラブ222施設（ルネサンス：直営108施設、業務受託63施設、運営支援4施設、オアシス：直営32施設、業務受託13施設、RENAISSANCE VIETNAM, INC.：直営2施設）、小型業態2施設（ルネサンス：直営1施設、RENAISSANCE VIETNAM, INC.：直営1施設）、介護リハビリ47施設（直営37施設、フランチャイズ10施設）、アウトドアフィットネス14施設（直営5施設、業務受託9施設）の計285施設となりました。

当社グループの報告セグメントは「スポーツクラブ運営事業」のみであるため、セグメントごとの業績については記載しておりません。

## (2) 当期の財政状態の概況

### ① 資産

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億49百万円増加し、554億35百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したこと等により流動資産合計が16億1百万円増加したこと、有形固定資産が8億41百万円増加した一方、無形固定資産が2億2百万円減少したこと等により固定資産合計が6億56百万円増加したことによるものです。

### ② 負債

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ15億55百万円増加し、433億17百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等により流動負債合計が20億78百万円増加した一方、リース債務が減少したこと等により固定負債が5億22百万円減少したことによるものです。

### ③ 純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億93百万円増加し、121億18百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益7億66百万円を計上したこと、配当金2億8百万円を支払ったこと等により利益剰余金が5億57百万円増加したことによるものです。

なお、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い、前連結会計年度については、取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額を使用しております。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等関係)」をご参照ください。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14億68百万円増加し、76億80百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度35億10百万円（前連結会計年度48億31百万円）

営業活動により得られた資金は、35億10百万円（前連結会計年度比27.3%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益10億2百万円（同49.4%増）、減価償却費31億33百万円（同29.8%増）、未払消費税の増加額3億79百万円（同39.1%増）、法人税等の支払4億44百万円によるものです。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度△31億58百万円（前連結会計年度△45億20百万円）

投資活動に使用した資金は、31億58百万円（前連結会計年度比30.1%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出31億94百万円（同42.2%増）、敷金・保証金の差入による支出4億89百万円（同18.0%減）、敷金・保証金の回収による収入5億53百万円（同234.1%増）によるものです。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度10億86百万円（前連結会計年度4億36百万円）

財務活動により得られた資金は、10億86百万円（前連結会計年度比149.1%増）となりました。これは主に長期借入れによる収入30億円（同11.8%減）、短期借入金の純増加額18億円、長期借入金の返済による支出25億13百万円（同9.1%増）、リース債務の返済による支出9億99百万円（同33.7%増）によるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (当連結会計年度)
自己資本比率 (%)	26.0	21.5	21.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	41.5	36.6	35.7
債務償還年数 (年)	14.0	5.7	8.2
事業収益インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1.5	2.2	2.6

（注）1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値を用いて、以下の計算式により計算しております。

- ・自己資本比率 : 自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
- ・債務償還年数 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・事業収益インタレスト・カバレッジ・レシオ : (営業利益＋受取利息＋受取配当金)／支払利息

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている転換社債型新株予約権付社債、短期及び長期借入金並びにリース債務を対象としております。営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、支払利息については、連結損益計算書の支払利息を使用しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、賃金・雇用情勢の改善が続くなか、個人消費等の内需の増加が見込まれる一方、米国の関税引き上げによる世界経済悪化の懸念や、人材不足の本格化等、先行き不透明な状況が続くものと予想されま

す。フィットネス業界においては、急速に進む少子高齢化に伴い健康寿命の延伸が国の重要課題となるなか、運動やコミュニティへの参加等を通じた健康づくりの場として、フィットネスクラブへの期待が益々高まっています。

このような環境下、当社グループは、合併により合流した旧オアシスのスタッフとともに、2024年5月に策定の「2024-2027中期経営計画」達成に向け、以下の重点取組を推進してまいります。

スポーツクラブ事業では、施設ごとの市場環境や特性に応じた設備投資及び会費の見直し等を行い、収益力の向上を目指します。

旧オアシスの施設においては、都心エリアの立地を活かし、法人向けマンスリーコーポレート会員の集客に取り組むほか、これまで成人のみを対象としていた施設へ、当社のスクール事業のノウハウを活かしてジュニアスイミングスクールを展開すること、スイミングスクール向けのICTソリューション「スマートスイミングレッスン」を既存施設へ導入すること等により、会員数の拡大と品質向上に取り組めます。

また、新規出店及び施設の契約更新の判断においては、当社の事業に適したR0ICの視点をを用い、資本コストを意識した経営を行ってまいります。

スポーツクラブ運営のノウハウを活かしたBtoG領域（地域の健康づくり）では、地域の健康課題解決を実現するための商品開発や提供体制の整備に取り組み、学校の水泳授業や介護予防教室などの受託件数の増加を目指します。また、PPP事業の拡大に向け、PPPに精通した人材の採用と育成、マネジメント体制を強化します。

BtoB領域(企業・健康保険組合向け働く人の健康づくり)では、ROLやスマートAction等を通じた企業との健康づくり施策の協働や法人会員の拡大とスポーツクラブ利用の促進による、健康経営の支援及び働く人の健康づくりを強化します。

介護・医療周辺事業では、直営既存施設の収益性維持・向上に取り組むとともに、他の介護事業者等に向けた機能加算取得に繋がるソリューションの提案を強化し、新たなビジネスモデルの開発を進めてまいります。

ホームフィットネス事業では、スポーツクラブに通っていない、国内人口の約96%の層に向けて、家で手軽に身体を動かす楽しさを提供します。今後、ホームフィットネス事業の商品開発力と当社の介護リハビリのノウハウとを掛け合わせ、シニア層に向けた商品開発と販促手法の確立にも取り組みます。

以上の取組により、2026年3月期の連結業績予想につきましては、売上高670億円(当連結会計年度比5.1%増)、営業利益22億円(同13.0%増)、経常利益14億円(同14.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益8億500万円(同11.0%増)を見込んでおります。

なお、2025年4月以降、下表の施設の新規出店及び運営受託を予定しています。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2025年4月	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス 東札幌24 (北海道札幌市)	スポーツクラブ
2025年4月	東大和市体育施設等(全6施設)(東京都東大和市)	指定管理
2025年4月	北九州市立浅生スポーツセンター(福岡県北九州市)	指定管理
2025年4月	名護市B&G海洋センタープール(沖縄県名護市)	指定管理
2025年5月	ルネサンス 元氣ジム東久留米(東京都東久留米市)	介護リハビリ(直営)
2025年6月	ルネサンス 元氣ジム目白台(東京都文京区)	介護リハビリ(直営)
2025年7月	(新)府中市B&G海洋センター(広島県府中市)	指定管理
2025年7月	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス・ビエラ明舞24 (兵庫県神戸市)	スポーツクラブ

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の状況を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,206,728	7,680,354
受取手形	6,898	28,085
売掛金	2,189,035	2,379,089
リース投資資産	24,569	25,196
商品	756,560	803,643
貯蔵品	48,228	114,747
その他	1,770,061	1,572,960
貸倒引当金	△12,701	△12,918
流動資産合計	10,989,380	12,591,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,046,256	24,671,021
減価償却累計額	△14,853,124	△15,579,293
建物及び構築物(純額)	8,193,132	9,091,727
機械装置及び運搬具	2,656,968	2,884,685
減価償却累計額	△2,188,418	△2,232,825
機械装置及び運搬具(純額)	468,550	651,860
工具、器具及び備品	5,065,056	5,599,487
減価償却累計額	△4,027,078	△4,346,688
工具、器具及び備品(純額)	1,037,978	1,252,799
土地	1,126,458	1,162,887
リース資産	19,812,710	20,232,249
減価償却累計額	△6,053,295	△7,161,879
リース資産(純額)	13,759,415	13,070,369
建設仮勘定	60,758	257,719
有形固定資産合計	24,646,293	25,487,364
無形固定資産		
のれん	967,399	883,132
顧客関連資産	691,000	592,285
その他	507,717	487,711
無形固定資産合計	2,166,116	1,963,129
投資その他の資産		
投資有価証券	33,685	42,198
長期貸付金	420,733	410,174
敷金及び保証金	12,374,658	12,317,705
繰延税金資産	1,886,503	1,973,577
その他	651,120	641,170
投資その他の資産合計	15,366,701	15,384,826
固定資産合計	42,179,111	42,835,321
繰延資産		
株式交付費	13,566	5,814
社債発行費	4,500	3,300
繰延資産合計	18,066	9,114
資産合計	53,186,557	55,435,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	87,888	133,128
短期借入金	2,400,000	4,200,000
1年内返済予定の長期借入金	2,343,084	2,220,584
リース債務	998,157	991,963
未払金	2,574,993	2,608,396
未払法人税等	403,192	502,376
前受金	624,881	476,828
賞与引当金	1,020,464	1,131,581
役員賞与引当金	19,467	31,332
店舗閉鎖損失引当金	21,705	—
資産除去債務	28,472	—
その他	2,985,257	3,289,821
流動負債合計	13,507,562	15,586,013
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,499,988	1,499,988
長期借入金	4,708,637	5,318,053
リース債務	15,339,570	14,781,738
繰延税金負債	162,178	—
退職給付に係る負債	1,363,783	1,248,756
資産除去債務	2,389,483	2,407,034
その他	2,790,098	2,475,510
固定負債合計	28,253,739	27,731,080
負債合計	41,761,302	43,317,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,210,356	3,210,356
資本剰余金	5,813,491	5,813,447
利益剰余金	5,131,689	5,688,784
自己株式	△2,514,753	△2,506,960
株主資本合計	11,640,783	12,205,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,348	14,256
為替換算調整勘定	△213,914	△183,224
退職給付に係る調整累計額	△21,634	70,167
その他の包括利益累計額合計	△227,201	△98,800
新株予約権	11,673	11,673
純資産合計	11,425,255	12,118,500
負債純資産合計	53,186,557	55,435,594

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	43,627,212	63,737,043
売上原価	39,961,151	58,058,571
売上総利益	3,666,061	5,678,472
販売費及び一般管理費	2,404,672	3,731,614
営業利益	1,261,388	1,946,858
営業外収益		
受取利息	8,192	11,325
受取配当金	175	203
為替差益	76,940	—
転リース差益	10,316	10,320
受取手数料	1,669	275
受取補償金	80,000	12,327
補助金収入	11,561	19,972
その他	53,100	53,872
営業外収益合計	241,956	108,296
営業外費用		
支払利息	579,811	755,589
為替差損	—	50,998
持分法による投資損失	323,300	—
その他	36,755	23,612
営業外費用合計	939,867	830,199
経常利益	563,478	1,224,954
特別利益		
固定資産売却益	—	28
段階取得に係る差益	298,318	—
固定資産受贈益	—	158,855
特別利益合計	298,318	158,884
特別損失		
固定資産除却損	14,646	47,156
減損損失	149,738	281,220
店舗閉鎖損失引当金繰入額	21,705	—
商品廃棄損	—	49,815
その他	4,471	2,742
特別損失合計	190,562	380,934
税金等調整前当期純利益	671,234	1,002,905
法人税、住民税及び事業税	165,118	530,177
法人税等調整額	△127,026	△293,272
法人税等合計	38,091	236,904
当期純利益	633,143	766,000
親会社株主に帰属する当期純利益	633,143	766,000

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	633,143	766,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,501	5,908
為替換算調整勘定	△68,270	30,690
退職給付に係る調整額	11,144	91,802
その他の包括利益合計	△53,624	128,400
包括利益	579,518	894,401
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	579,518	894,401
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,210,356	5,813,491	4,644,051	△2,514,753	11,153,145
当期変動額					
剰余金の配当			△145,505		△145,505
親会社株主に帰属する 当期純利益			633,143		633,143
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	487,637	—	487,637
当期末残高	3,210,356	5,813,491	5,131,689	△2,514,753	11,640,783

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	4,846	△145,643	△32,779	△173,576	11,673	10,991,242
当期変動額						
剰余金の配当						△145,505
親会社株主に帰属する 当期純利益						633,143
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,501	△68,270	11,144	△53,624		△53,624
当期変動額合計	3,501	△68,270	11,144	△53,624	—	434,013
当期末残高	8,348	△213,914	△21,634	△227,201	11,673	11,425,255

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,210,356	5,813,491	5,131,689	△2,514,753	11,640,783
当期変動額					
剰余金の配当			△208,905		△208,905
親会社株主に帰属する 当期純利益			766,000		766,000
自己株式の処分		△43		7,793	7,749
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△43	557,095	7,793	564,845
当期末残高	3,210,356	5,813,447	5,688,784	△2,506,960	12,205,628

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	8,348	△213,914	△21,634	△227,201	11,673	11,425,255
当期変動額						
剰余金の配当						△208,905
親会社株主に帰属する 当期純利益						766,000
自己株式の処分						7,749
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	5,908	30,690	91,802	128,400		128,400
当期変動額合計	5,908	30,690	91,802	128,400	—	693,245
当期末残高	14,256	△183,224	70,167	△98,800	11,673	12,118,500

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	671,234	1,002,905
減価償却費	2,414,720	3,133,516
のれん償却額	14,619	84,266
減損損失	149,738	281,220
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	26,455	18,190
長期未払金の増減額 (△は減少)	565,859	△113,843
賞与引当金の増減額 (△は減少)	120,139	122,982
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	21,705	△21,705
固定資産売却損益 (△は益)	—	△28
固定資産受贈益	—	△158,855
固定資産除却損	14,646	47,156
受取利息及び受取配当金	△8,367	△11,528
支払利息	579,811	755,589
持分法による投資損益 (△は益)	323,300	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	△298,318	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△150,946	△211,240
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△52,186	△113,602
前払費用の増減額 (△は増加)	△7,253	△79,761
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,396	45,240
未払金の増減額 (△は減少)	116,857	33,391
未払費用の増減額 (△は減少)	181,828	△51,035
前受金の増減額 (△は減少)	26,599	△148,052
未収消費税等の増減額 (△は増加)	337,793	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	273,030	379,856
その他	△120,254	△284,857
小計	5,203,409	4,709,803
利息及び配当金の受取額	290	3,774
利息の支払額	△581,477	△758,219
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	209,583	△444,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,831,805	3,510,362

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,247,150	△3,194,427
有形固定資産の売却による収入	—	28
無形固定資産の取得による支出	△265,169	△233,838
敷金及び保証金の差入による支出	△597,209	△489,823
敷金及び保証金の回収による収入	165,723	553,762
長期貸付けによる支出	—	△39,411
長期貸付金の回収による収入	68,275	59,674
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,622,901	—
子会社株式の取得価額調整による収入	—	218,727
その他	△21,768	△33,611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,520,199	△3,158,918
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△600,000	1,800,000
長期借入れによる収入	3,400,000	3,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,303,084	△2,513,084
リース債務の返済による支出	△747,322	△999,540
自己株式の処分による収入	—	7,749
配当金の支払額	△145,267	△208,893
セール・アンド・リースバックによる収入	831,732	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	436,057	1,086,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68,270	30,690
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	679,393	1,468,365
現金及び現金同等物の期首残高	5,532,596	6,211,989
現金及び現金同等物の期末残高	6,211,989	7,680,354

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2024年3月31日に行われた株式会社東急スポーツオアシスとの企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額1,542百万円は、会計処理の確定により636百万円減少し、905百万円となっております。

のれんの減少は、顧客関連資産が691百万円、繰延税金負債が126百万円増加し、有形固定資産が59百万円、資産除去債務が134百万円減少したこと等によるものです。

また、前連結会計年度の連結損益計算書及び連結包括利益計算書に与える影響は軽微であります。

なお、のれんの償却期間は13年で、のれん以外に配分された顧客関連資産の償却期間は7年であります。

## (セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

「スポーツクラブ運営事業」の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額が90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

「スポーツクラブ運営事業」の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。



(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額が90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	498円38銭	534円87銭
1株当たり当期純利益	32円46銭	39円48銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	30円48銭	34円26銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	633,143	766,000
普通株主に帰属しない金額(千円)	19,999	19,999
(うち優先配当額(千円))	(19,999)	(19,999)
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	613,143	746,001
普通株式の期中平均株式数(株)	18,888,294	18,893,603
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	10,435	10,406
(うち支払利息(税額相当額控除後)(千円))	(10,435)	(10,406)
普通株式増加数(株)	1,569,000	3,768,047
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2023年1月23日発行の A種種類株式 普通株式転換の目的と なる株式 2,092,000株  2023年1月23日発行の 第2回新株予約権 新株予約権の数 15,690個 (普通株式1,569,000株)	—

(注) 前連結会計年度の1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の分配額の見直しが反映された後の金額により算定しております。

(重要な後発事象)

連結子会社の吸収合併

当社は、2024年5月10日開催の取締役会において、2025年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社である株式会社スポーツオアシスを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2025年4月1日付で吸収合併しております。

取引の概要

① 被結合企業の名称及び事業の内容

株式会社スポーツオアシス（会員制スポーツクラブの経営等）

② 企業結合日

2025年4月1日

③ 企業結合の方法

当社を存続会社、株式会社スポーツオアシスを消滅会社とする吸収合併

④ 結合後の企業の名称

株式会社ルネサンス

⑤ 企業結合の目的

当社は、2024年5月10日発表の中期経営計画において2027年度に過去最高益を目指し、総合型スポーツクラブのリーディングカンパニーとして業界をリードすることを掲げております。この度、オアシスを合併することで、当社グループ経営の最適化、経営資源の効率化の観点から事業基盤の強化を図ると共に、新たな成長・中期経営計画の目標達成に向けた準備を進め、「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」として更なる発展を遂げることを目的としております。

⑥ 合併に係る割当内容

本合併による新株式の発行及び合併交付金の支払いはありません。

⑦ 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理します。